

活動案1時目〈タブレット端末〉

「上手な断り方の練習をしよう」

※この活動案は、小・中学校共通です。45分で設定しているため、中学校で実践される場合は、適宜調整してご使用ください。

学習活動	教師の働き掛け	留意すること
<p>《インストラクション》</p> <p>1. めあてを知る。 【5分】</p>	<p><b>【スライド1】</b></p> <p>○これから、インターネット上のコミュニケーション力を身に付けるための授業を2時間で学習していきます。</p> <p>○みなさん、インターネット上の友達とのやり取りで、気になったことはありますか。</p> <p><b>【スライド2】</b></p> <p>○スライドを見てください。この「いいよ」は「OKのいいよ」か「NOのいいよ」のどちらでしょうか。</p> <p>○文字だけではどちらの「いいよ」なのか分かりにくいですね。</p> <p><b>【スライド3】</b></p> <p>○「いいよ」はどんなときに使われるのか調べてみました。</p> <p>○同じ「いいよ」でも4つの「いいよ」があります。</p> <p>○では、みなさんに問題を出します。ワークシートを準備しましょう。</p> <p><b>【スライド4】</b></p> <p>○これから4枚のイラストを見せます。4つのうちのどの「いいよ」なのかを文字や表情をヒントに考えてみましょう。</p> <p>○では、1枚目。2枚目。3枚目。4枚目。</p> <p>○どうでしたか。次はイラストではなく、みなさんの前でどんなときの「いいよ」なのかを実際に演じたと思います。</p> <p><b>【スライド5・6】</b></p> <p>○イラストと同じ順番で「いいよ」を演じてみます。声と表情、しぐさをヒントに考えてください。</p> <p>○答え合わせをします。</p> <p>○イラストと実際の演技ではどちらが分かりやすかったですでしょうか。実際の演技の方が分かりやすかった</p>	<p>・【スライド1】は、授業前に提示しておく。</p> <p>・4つの「いいよ」があることを紹介する。</p> <p>・「どんなときの『いいよ』でしょうか？」のプリントを準備するよう伝える。</p> <p>・1枚30秒程度、提示する。</p> <p>・【スライド4】と同じ順番で演じることを伝える。</p>

	<p>人が多かったと思います。</p> <p><b>【スライド7・8】</b></p> <p>○人と人とのコミュニケーションにおいて、話す人のどのような情報が聞く人の印象に影響するのかということの研究した人がいて、その人がある法則を発見しました。メラビアンという研究者が発見したので、「メラビアンの法則」と呼ばれています。</p> <p>○人に何かを伝えたいときは、この「メラビアンの法則」を思い出すと役に立ちます。</p> <p>○人はコミュニケーションを取るときに、その話の内容だけでなく、表情やしぐさ、声のトーンや大きさなどからも情報を得ています。その中で重要視されるのは何かという研究をしたのが、アメリカ合衆国の心理学者アルバート・メラビアンです。この「メラビアンの法則」によると、人がコミュニケーションで重視する割合の中で「話の内容など」の言語情報はわずか7%、「見た目/表情/しぐさ/視線など」の視覚情報が55%、「声のトーン/声の大きさ/話す速さ/口調など」の聴覚情報が38%だと言われています。</p> <p>○インターネット上でのやり取りは、ほとんどが文字だけの情報です。「メラビアンの法則」で考えると、文字だけでは7%しか相手には伝わらない可能性があるということです。インターネット上でのやり取りは、対面でのやり取りと比べて、より丁寧に伝える必要があるということです。</p> <p><b>【スライド9】</b></p> <p>○今日は、インターネット上のコミュニケーションにおいて誘いを断るときにどのように断ったらよいかを学習します。今日の学習のめあては「上手な断り方の練習をしよう」です。</p>	<p>・文字だけでは相手に伝わりにくいことがあるため、対面でのやり取りと比べ、より丁寧に伝える必要があることを押さえる。</p>
<p><b>【本時のめあて】上手な断り方の練習をしよう</b></p>		
	<p>○今から、みなさんにインターネット上でのやり取りを3回見せます。先生は読みませんので、スライドを見ながら、声に出さずに、目だけで読みましょう。</p>	
<p>《モデリング》</p> <p>2. モデリングを見て、断り方のポイントを知る。</p> <p>①「いいよ」のみ。</p>	<p><b>【スライド10～12】</b></p> <p>○1回目～3回目</p> <p><b>【スライド13】</b></p> <p>○3回のやり取りの中で、何回目の断り方がよかったですか。</p>	<p>・3回目のどんなところがよかったか、気付き</p>

<p>②言葉が少ない。 ③ポイントに気を付けながら理由を伝えて断る。 【4分】</p> <p>《リハーサル》</p> <p>3. 断り方のポイントに気を付けながら練習①をする。 【8分】</p> <p>《フィードバック》</p> <p>4. ペアでできたポイントやよかったところを伝え合う。 【2分】</p> <p>5. 読んだときの気持ちを伝え合う。 【2分】</p>	<p>○3回目の断り方のどのようところがよかったのかを、近くの人と話し合しましょう。</p> <p>○話し合ったことを他の人に紹介してほしいと思います。紹介してくれる人いますか。</p> <p><b>【スライド14】</b></p> <p>○上手な断り方のポイントを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①謝る気持ちを伝える</li> <li>②断る理由を伝える</li> <li>③できないことをはっきり言う</li> <li>④次の約束や代替りのアイデアを伝える</li> </ul> <p>○この4つのポイントに気を付けて練習しましょう。</p> <p><b>【スライド15】</b></p> <p>○練習をするときの約束事があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はずかしがらない</li> <li>・冷やかさない</li> <li>・よいところを見付ける</li> </ul> <p>○この3つの約束を守って練習をしましょう。</p> <p><b>【スライド16】</b></p> <p>○では、上手な断り方の練習をペアで行います。今日は2回練習します。練習の内容を説明します。</p> <p>○まず、誘う言葉をスライドで確認します。</p> <p>○次に、断る言葉を書きます。</p> <p>○4つのポイントに気を付けて書きましょう。全員が書き終わったら、一斉に送信します。書き終わっていても合図をするまでは待っておいください。</p> <p><b>【スライド17】</b></p> <p>○書くことが難しい人は、スライドに例を示していますので参考にしてください。</p> <p>○改行するには、シフトキーを押しながらエンターキーを押します。</p> <p><b>【スライド18】</b></p> <p>○全員が書き終わったので、一斉に送信します。</p> <p>○それでは、送られてきたメールを読んでください。メールを読んで、できていたポイントやよかったところを「ニコマーク」を使って伝えましょう。ポイントのうち1つか2つできていれば「ニコマーク」、3つか4つできていれば「ニコニコマーク」を挙げましょう。</p> <p>○次に、読んだときの気持ちや書いたときの気持ちを伝え合いましょう。よかったところだけではなく、気になったところ、気を付けた方がよいと感じたと</p>	<p>を出させながら断り方のポイントを押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントを伝えながら、メール文のどの部分に当たるのかを示す。</li> <li>・実際にできるようになるためには、約束を守って練習することが大事であることを伝える。</li> <li>・どのポイントが上手にできていたのかを伝えるように指示を出す。</li> <li>・フィードバックはよかったところだけではなく、気になったとこ</li> </ul>
---	---	---

<p>6. 練習①を振り返り、学級で共有する。 【2分】</p> <p>7. 頑張りたいポイントを決め、見付けたポイントを書く。 【2分】</p> <p>《リハーサル》</p> <p>8. 断り方のポイントに気を付けながら練習②をする。 【8分】</p> <p>《フィードバック》</p> <p>9. ペアでよかったところや読んだときの気持ちを伝え合う。 【3分】</p>	<p>ころも伝え合いましょう。</p> <p>【スライド19】</p> <p>○ワークシートを準備しましょう。 ○自分ができたポイントに○(丸)を付けましょう。 ○どんな断り方をしたか紹介してください。また、ペアの人の上手な断り方を紹介してください。</p> <p>【スライド20】</p> <p>○2回目の練習で頑張りたいポイントを決めましょう。 ○自分で見付けたポイントや他の人の考えを聞いて参考になったポイントがあれば、書きましょう。 ○できるポイントが増えたり、頑張りたいポイントができるようになったりするといいですね。</p> <p>【スライド21】</p> <p>○では、2回目の練習をします。 ○まず、誘う言葉をスライドで確認します。 ○次に、断る言葉を書きます。 ○4つのポイントに気を付けて書きましょう。全員が書き終わったら、一斉に送信します。書き終わっていても合図をするまでは待っておいください。</p> <p>【スライド22】</p> <p>○書くことが難しい人は、スライドに例を示していますので参考にしてください。 ○改行するには、シフトキーを押しながらエンターキーを押します。</p> <p>【スライド23】</p> <p>○全員が書き終わったので、一斉に送信します。 ○それでは、送られてきたメールを読んでください。メールを読んで、できていたポイントやよかったところを「ニコマーク」を使って伝えましょう。ポイントのうち1つか2つできていれば「ニコマーク」、3つか4つできていれば「ニコニコマーク」を挙げましょう。 ○次に、読んだときの気持ちや書いたときの気持ちを伝え合いましょう。よかったところだけではなく、気になったところ、気を付けた方がよいと感じたところも伝え合いましょう。</p>	<p>ろ、気を付けた方がよいと感じたところ、代替案なども伝えるように指示を出す。</p> <p>・どのポイントが上手にできていたのかを伝えるように指示を出す。</p> <p>・フィードバックはよかったところだけではなく、気になったところ、気を付けた方がよいと感じたところ、代</p>
--	---	---

<p>10. 練習②を振り返り、学級で共有する。 【2分】</p>	<p>【スライド 24】 ○自分ができたポイントに○(丸)を付けましょう。 ○どんな断り方をしたか紹介してください。また、ペアの人の上手な断り方を紹介してください。</p>	<p>替案なども伝えるように指示を出す。</p>
<p>11. 学習のまとめをする。 【7分】</p>	<p>【スライド 25】 ○今日学習したことを振り返りましょう。振り返りシートに記入してください。 【スライド 26】 ○感想を発表してほしいと思います。発表してくれる人は手を挙げてください。  ○今日は上手な断り方の学習をしました。上手な断り方ができて、自分も相手も嫌な気持ちにならずに過ごせたらいいですね。</p>	<p>・感想を紹介し、ポイントを使って断るよさを確認する。</p>

◆授業後の取組

○チャレンジ週間の設定

学習したスキルが日常生活にも活用できるように、チャレンジ週間を設け、学習後3～5日間集中的に働き掛けます。チャレンジ週間では、次のような取組が考えられます。

- ・チャレンジシートを用いて、練習に取り組みせ、学習を振り返らせる
- ・授業の感想を、数日に分けて紹介する
- ・学級通信などを活用し、家庭でも取り組むように働き掛ける など

板書計画（1時目）

【めあて】上手な断り方の練習をしよう

インストラクション  
(めあてを知る)

モデリング  
(見本を観察する)

リハーサル  
(繰り返し練習)

練習のやくそく  
はずかしがらない  
冷やかさない  
よいところを見付ける

ふりかえり  
(ふりかえりシートに書く)

上手な断り方のポイント

★謝る気持ちを伝える



★断る理由を伝える

★できないことをはっきり伝える

★次の約束や代わりのアイデアを伝える

※児童生徒から出たポイントを書く

1	さそう言葉を確認する。
2	断る言葉を書く。
3	断る言葉を「送信」する。
4	ポイントがいくつできたかチェックする。
5	断られたときの気持ちを伝える。
6	ふりかえりをする。

ニコマーク	ニコニコマーク
	
1つか2つ できた	3つか4つ できた

※見通しをもつことができるように1時間の流れを示し、矢印で進捗を示します。

※ポイントは1つずつ提示します。児童生徒から出たポイントは下方に板書します。

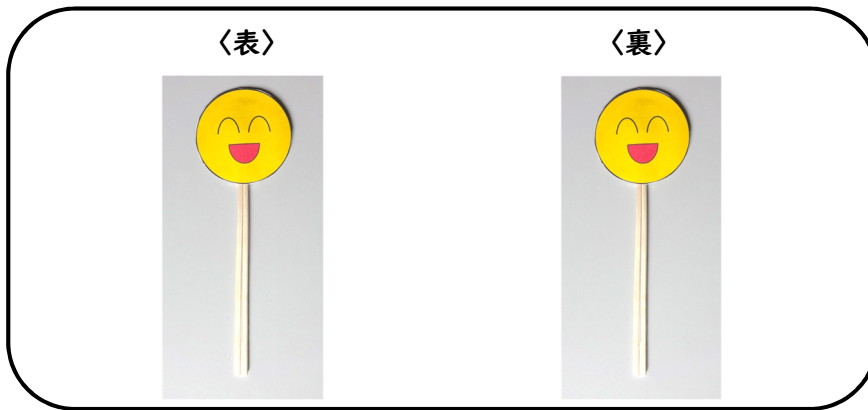
※練習の手順を提示し、矢印で進捗を示します。ポイントをチェックする参考に、ニコマークも掲示します。

◆本時の授業で必要なもの

- ニコマーク、ニコニコマークの札各1本 ※作成の方法は後方に示しています。
- タブレット端末

【ニコマーク&ニコニコマーク】

※それぞれの表情を厚紙に印刷し、同じ表情の間に割り箸を挟んで作成します。



※原寸大

〈ニコマーク 表〉



〈ニコマーク 裏〉



〈ニコニコマーク 表〉



〈ニコニコマーク 裏〉

